

Date

No.

not for you

④ 了原色

⑤ 本中

(第四の法)

④⁻¹ 働 討伐を果せ、帰郷の途一行。

勝手知ったる迷いの森で、行く所には気休め物、大洞の洞窟の傍。

物奥で一冊の本を見つけた、文に難い所、私語が詰まらぬ。

④⁻² 筑路し、ビルド。

鳥か、私語と音響が合併して行く時、

喜劇の楽団が、私語の部下が、~~喋~~ (第四の壁)

劇場

④⁻³ 訳つた所、'現場'の所見を

私語 筆で書いた、本の電報へと再びして。一冊

⑤ ... Nに 秋等春の日記 (現在もこの名前)

彼は ~~長男~~ 何代も続く家系の長男で、その行動は子孫に
配当者をおか決まっていた。(35頁)

この女中は かりとオリー・V.への嫁。

82

⑤ 詩人 田村, フランス, 1950 ~

⑤ 3-1 = 村 哲夫の詩集

フリス

フリスの日記

1. 富 子 1950
日記の書き出し

Date

No.

(N)

1. (N) 日記, 発見

2. (S) 日記, 「旅場」への接近. 第3子の長男

3. (N) 荒足心レド, 吟遊詩人のためと自らを仰ぐ
~~旅場~~ 旅の場を伴うて, 旅の生活

~~旅の場~~

4. (S) 詩人の集, 見せる. 101巻(2)に足つり(本座)を

(=ニテ 201巻(2)の巻の行)

5. (N) 勇者が 旅の場を 離れしる. 見せる.

旅の場の場を 持たせし, 勇者の 旅の場, 見せる

6.